

安全データシート

SDS No. : 34007J-COM

作成・改訂 : 2017/06/12

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : ジアセチル誘導体化試薬キット「Shinwa DS-DA (Diacetyl)」
 Reagent-D (抽出液)

会社名 : 信和化工株式会社

住所 : 京都市伏見区景勝町 50 番地 2

担当部門 : COM グループ

電話番号 : 075-621-2360

FAX 番号 : 075-602-2660

緊急連絡電話番号 : 同上

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性 :

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性 :

急性毒性 (吸入) 区分 4

皮膚腐食性および刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性 区分 2B

生殖毒性 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分 1 (中枢神経系)

特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分 3 (気道刺激性・麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復暴露) 区分 1 (中枢神経系・腎臓)

環境に対する有害性 :

水生環境有害性 (急性) 区分 2

水生環境有害性 (長期間) 区分 3

ラベル要素 :



注意喚起語

危険有害性情報

危険

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚刺激をおこす

眼刺激を起こす

吸入すると有害

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気やめまいのおそれ

飲み込んで気道に入ると生命に危険のおそれ

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に有害
 中枢神経系に障害を生じる
 長期暴露または反復暴露により、中枢神経系
 および腎臓に障害を生じる

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	CAS No.	官報公示整理番号
エタノール	0.07%	C ₂ H ₅ OH	64-17-5	2-202
トルエン	99.93%	C ₇ H ₈	108-88-3	3-2

4. 応急処置

- 吸引した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合は、医師に相談すること。
- 目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。直ちに医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。異状があれば医師の手当てを受けること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

5. 火災時の処置

- 消火剤： 水噴霧、粉末消火剤、炭酸ガス、耐アルコール性泡消火剤
 使ってはならない消火剤： 棒状注水
- 特定の危険有害性： 加熱により容器が爆発するおそれがある。
 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
 消火後再び発火するおそれがある。
 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特定の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 容器が熱に晒されているときは、移さない。
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項： 全ての着火源を取り除く。
 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
 風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

除去方法：危険でなければ漏れを止める。
乾燥砂又は土等で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

安全取扱い注意事項：取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件：直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料：ガラス

8. 暴露防止処置

設備対策：蒸気またはミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

管理濃度

作業環境評価基準：20 ppm

許容濃度：ACGIH TLV(s)：20 ppm

日本産業衛生学会：50 ppm

保護具：保護マスク

手の保護具：保護手袋

目の保護具：保護眼鏡、ゴーグル型または全面保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体 沸点：データなし

色：無色 融点：データなし

臭い：特異臭 引火点：データなし

pH：データなし 発火点：データなし

比重：データなし 蒸気圧：データなし

爆発限界：データなし

溶媒に対する溶解性：水にほとんど溶けない。エタノールに易溶。

オクタノール／水分配係数 log Po/w：データなし

10. 安全性及び反応性

- 安定性 : 光により変質するおそれがある
危険有害反応可能性 : データなし
避けるべき条件 : 直射日光、高温、熱、火花
危険有害な分解性生物 : 一酸化炭素、二酸化炭素
-

11. 有害性情報

本製品に関する情報はないが、トルエンに関する情報を記載する。

- 急性毒性 : 経口 ラット LD50: 5000 mg/kg (環境庁, 2002)
経皮 ラット LD50: 12124 mg/kg (ACGIH, 2007)
吸入 ラット LC50: 31 mg/L (PATTY 5th, 2001)
- 皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚刺激 ウサギ 500mg/72H 中程度 (EURAR, 2003)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 目刺激 ウサギ 100mg/24H 軽度 (EURAR, 2003)
- 発がん性 : グループ 3 (IARC 1999)
- 生殖毒性 : グループ 1 (IARC 1999)
- 特定標的臓器毒性、単回暴露 : 高濃度の蒸気を吸入すると、中枢神経系に影響を与える (IARC 1989; IRIS 2005)
高濃度の蒸気を吸入すると、上気道に影響を与え、刺激頭痛、疲労感、集中力欠如を生じることがある。 (IARC 1989; PATTY 5th 2001)
- 特定標的臓器毒性、反復暴露 : 長期の暴露により肝臓、および中枢神経系に悪影響を及ぼす (産業医学 36 1994)
-

12. 環境影響情報

本製品に関する情報はないが、トルエンに関する情報を記載する。

- 生態毒性 : 甲殻類 (ブラウンシュリンプ) EC50: 3.5mg/L/96H (EURAR 2003)
- 残留性/分解性 : 急速分解性がある
- 生体蓄積性 : 生物蓄積性が低いと推定される
-

13. 廃棄上の注意

- 内容物、容器を地方または国の規則に従って廃棄すること。
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。
-

14. 輸送上の注意

- 国連分類 : クラス 3
国連番号 : 1294 (トルエン)
容器等級 : II
注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

15. 適用法令

消防法	:	危険物第四類 第一石油類 危険等級Ⅱ
毒物及び劇物取締法	:	非該当
労働安全衛生法	:	第2種有機溶剤等 名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物 No.407 危険物・引火性の物 作業環境評価基準
船舶安全法(危規則)	:	引火性液体類
航空法	:	引火性液体
海洋汚染防止法	:	施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質
大気汚染防止法	:	有害大気汚染物質(優先取組物質)
水質汚濁法	:	指定物質
悪臭防止法	:	特定悪臭物質
麻薬及び向精神薬取締法	:	麻薬原料
化学物質管理促進法(PRTR法)	:	第1種指定化学物質 No.300

16. その他の情報

引用文献:	厚生労働省 http://www.mhlw.go.jp/ 製品評価技術基盤機構 http://www.nite.go.jp/chem/index.html RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 化学物質規制・管理実務便覧 原材料メーカーの製品安全データシート IATA 航空危険物規則書 第49版邦訳
-------	---

本製品安全衛生データシートは、現時点において得られた情報をもとに作成していますが、かならずしも万全なものではありません。取扱いには十分注意して下さい。